



学生会から

学生会会長 電子制御工学科4年 大和川 飛翔

こんにちは。突然ですが、6月1日の道路交通法の改正で自転車などに関する法律が変わったことをみなさん知っていますか？自転車に関してもより厳しい法律になりました。

今回は、このことについてみなさんにも改めて考えてもらいたいと思います。

学生会執行部は、毎月交通安全運動として、朝と夕方に信号無視などの違反者をチェックしています。また、先生方も校門付近の交差点などで見回りをいただいています。これらの取り組みによって、年々

違反者の数は減ってきているのですが、まだまだ違反をしている人が多くいることも事実です。

信号無視や二人乗りなどはあまり見られませんが、並走や無灯火、ななめ横断などはよく見られます。みなさんはこれらの行為が法律違反であることを理解していますか？並走している学生はまわりに迷惑になっていると思ったことはありませんか？

この機会にもう一度自転車のマナーについて見直してみましょう。



クラブ・同好会紹介

vol.9

体育部	文化部	同好会
●アーチェリー	●からくり	●化学同好会
★合気道	★機械研究会	●クイズ研究会
★弓道	★軽音楽	●現代視覚文化研究会
★剣道	★茶道	●生協学生同好会
★硬式野球	★将棋	●電気技術研究会
★サッカー	★情報処理研究会	★料理研究会
●柔道	●吹奏楽	★合唱同好会
★少林寺拳法	★美術	★印は既刊号で紹介したクラブ・同好会です。
●水泳	★放送	
●ソフトテニス		
●卓球		
★硬式テニス		
★バスケットボール		
●バドミントン		
●バレーボール		
★ハンドボール		
●ラグビー		
●陸上競技		



硬式テニス部

硬式テニス部部长 情報工学科3年 橋本 侑亮

奈良高専硬式テニス部です。僕たちは全国高専大会出場を目標として日々活動しています。

昨年の全国大会出場、さらには錦織圭選手の活躍もあってたくさんの新入生が入部してくれました！

また僕たち硬式テニス部は「社会への貢献」や「学校への貢献」、そしてもちろん部員一人一人による「部への貢献」を部の方針として活動しており、テニスを通してテニスの技術だけでなく人としても成長することを目標としています。



将棋部

情報工学科5年 齊藤 裕介

こんにちは。奈良高専将棋部です。将棋部は、毎週火、水、木、土曜日に凌雲館(生協のある建物)2階の和室で将棋を指しています。将棋部のメインイベントは夏休みの全国大会です。奈良高専は昨年、個人と団体でW優勝した強豪校です。しかし、ここ数年は部員が数人しかいないため、部員を急募しています。全国大会の出場枠が多い割に部員が少ないので、誰にでも全国出場のチャンスがあります。初心者で入部した部員がその年の全国大会で予選突破したこともあります。部活といって肩に力を入れずに気軽に見学にきてください!兼部OKです。お待ちしております!



退職のごあいさつ

3度目の卒業

大阪工業大学 上田 悦子



4月に大阪工業大学に移って3ヶ月が経ち、1時間半の電車通勤にも慣れ、新しい環境での出会いと発見を楽しめる余裕も出てきました。今振り返ってみれば、母校は、私を本科の5年間で技術者へと育て、その後の技術補佐員+専攻科の5年間で、私に研究者になるきっかけを与え、教員として戻って来た5年間で、研究者・教育者としてどう生きるべきかを考えるチャンスを与えてくれました。私にとっては、いつの時も「5年制の」教育機関だったのだなあとしみじみ思います。

学生のみなさんにとっても、奈良高専はたくさんのお話を学び、掴める場所だと思います。そのために、毎日をチャレンジングに過ごしてくださいね!

新たなことにチャレンジする姿勢を

茨城大学教育学部 吉井 豊



奈良高専では4年間お世話になり、授業、クラブ顧問や学級担任など、多くの貴重な経験をさせていただきました。私を支えて下さった教職員、事務職員、学生の皆様にも心から感謝いたします。さて、この4月からは茨城大学教育学部に着任し、現在では教員を目指す学生への授業や卒業研究を担当しています。教育実習における小学校への訪問など新たな仕事も数多く、新鮮で充実した毎日を送っています。今後も新たなことにチャレンジしていきたいと思いますが、奈良高専の学生の皆様も是非色々なことにチャレンジする姿勢を大切にしてください。高専祭などでまたお会いできたらと思っています。

お世話になりました

比治山大学 刀田 絵美子



皆さん、お元気ですか。三月末に奈良高専を退職し、比治山大学という広島県にある大学に異動しました。奈良高専での三年間は、先生方・事務の皆さん、そして学生の皆さんに助けられながら、また教えてもらいながら、私なりに色々なことに挑戦した日々でした。そのことを考えると、何とも言いがたい、あえて言葉にするなら、感謝とか感動とか、体の奥の方から込み上げてくる思いでいっぱいになります。この気持ちを忘れないように、今いる場所で、一生懸命に生きていきたいと思っています。最後になりましたが、奈良高専の今後益々の発展と、皆様のご活躍をお祈りし、私のご挨拶といたします。